

00325

鳥取縣公報

縣 令

第八百四十一號

昭和十二年七月六日

火曜日

◆鳥取縣令第三十四號

醫師腸「チフス」「バラチフス」又ハ發疹「チフス」ノ疑似症ヲ診察シタルトキ届出方其ノ他ノ件左ノ通定ム

昭和十二年七月六日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

第一條 醫師腸「チフス」「バラチフス」又ハ發疹「チフス」ノ疑アル者ヲ診察シ又ハ其ノ死體ヲ檢案

シタルトキハ直ニ其ノ住所、職業、氏名、年齢及發病、診察若ハ檢案ノ日時ヲ口頭又ハ書面ヲ以テ患者所在地ノ警察官吏ニ届出ツベシ其ノ轉歸ノ場合亦同シ

第二條 腸「チフス」「バラチフス」又ハ發疹「チフス」ノ疑アル者又ハ其ノ死體ニ對シ傳染病豫防法

第二條ノ規定ニ依リ同法ノ全部ヲ適用ス但シ同法第七條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

00326

第三條 第一條ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◆鳥取縣令第三十五號

退職積立金及退職手當法施行細則左ノ通定ム

昭和十二年七月六日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

退職積立金及退職手當法施行細則

第一條 退職積立金及退職手當法(以下法ト稱ス) 退職積立金及退職手當法施行令(以下令ト稱ス) 退職積立金及退職手當法施行規則(以下規則ト稱ス)又ハ本令ニ依リ知事ニ提出スベキ願届書(正副二通)ハ事業所所在地所轄警察署長ヲ經由スベシ但シ退職金審査會ニ提出スベキ文書ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 事業主ハ法第十一條ノ規定ニ依ル退職積立金、法第十六條及第十七條ノ規定ニ依ル退職手當及之ガ支給ニ關スル規程ヲ定メタルトキハ其ノ規程ノ外左ノ事項ヲ具シ知事ニ届出ヅベシ之

00327

ヲ變更シタルトキ亦同ジ

一 事業ノ名稱、種類及所在地

二 事業主ノ住所氏名(法人タル事業主ニ在リテハ主タル事務所ノ所在地及代表者ノ氏名)

三 常時使用労働者數

第三條 令第九條第一項但書ノ規定ニ依ル取纏メ積立ノ期間ハ三月ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四條 事業主ハ退職手當積立金ノ積立方法(銀行ヘノ預金又ハ金錢信託ノ方法ニ依ラントスルト

キハ其ノ銀行名又ハ信託會社名)ヲ豫メ知事ニ届出ヅベシ之ヲ變更セントナルトキ亦同ジ

第五條 事業主ハ法第十三條第一項ノ規定ニ依ル退職積立金ノ運用ニ關シ労働者ノ同意ヲ得タルト

キハ之ヲ證スルニ足ルベキ書類ヲ保存スベシ

第六條 規則第八條ノ規定ニ依ル退職積立金、退職手當積立金及準備積立金ノ積立竝ニ退職積立金

ノ支拂及退職手當ノ支給狀況報告ハ別記様式ニ依リ之ヲ爲スベシ

第七條 規則第九條ノ規定ニ依ル退職積立金ノ支拂及退職手當ノ支給ヲ完了シタルトキ届出ヅベキ

顛末報告書ニハ左記事項ヲ具シ尙前條ノ様式ニ準ジ其ノ年一月以降ノ狀況ヲ記載シタル書類ヲ

添附スベシ

- 一 事業ノ名稱、種類及所在地
- 二 法ノ適用ヲ受ケザルニ至リタル年月日及其ノ事由
- 三 退職積立金支拂ノ勞働者別金額
- 四 退職手當支給ノ勞働者別金額
- 五 支拂及支給完了年月日

第八條 規則第四十三條ノ規定ニ依ル代理人ノ選任届ニハ其ノ履歷書ヲ添附スベシ
 第九條 法、令、規則又ハ本令ニ依ル申請又ハ届出ヲ爲ス者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ法定代理人、準禁治産者ナルトキハ保佐人、妻ナルトキハ夫ノ連署ヲ要ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式

積立金ノ積立及退職手當ノ支給狀況報告 (昭和 年分)

- 一 事業ノ名稱及所在地

- 二 事業ノ種類
- 三 事業主ノ氏名及住所
- 四 年末現在ノ適用勞働者數 男 女 計
- 五 積立金ノ積立狀況

年 末 現 在 額							年內ニ積立テタル額	退職積立金	退職手當積立金	準備積立金	法第四十二條 準備積立金
合 計	運 用 金	其 ノ 他	登 録 國 債	金 錢 信 託	銀 行 預 金	郵 便 貯 金					

00330

六 退職労働者ノ退職積立金支拂状況

退職シタル労働者數	男	女	計
退職シタル労働者ノ退職積立金總額			

備考 退職積立金總額ニハ退職積立金ノ運用金、其ノ利子及貸金ヨリ控除シ積立ヲ爲サザル金額ヲ含マシムルコト

七 退職手当支給状況 其ノ一

勤続年數	労働者數	區分		事由												合計			
		男	女	解雇	縮少等ニ依ル	特別ニ不都合背信行爲ナル行爲ニ依ル	解雇	解雇	解雇	解雇	解雇	解雇	解雇	解雇	解雇		解雇		
一年以上	労働者數																		
一年未満	労働者數																		
三年以上	労働者數																		
金 額																			
(内特別手当)																			

00331

三年以上	労働者數																		
金 額																			
(内特別手当)																			
計	労働者數																		
金 額																			
(内特別手当)																			

備考 1 已ムヲ得ザル事項ニハ身分ノ變更其ノ他ノ事由ニ因リ本法ノ適用ヲ受ケザルニ至リタル場合ヲ含マシムルコト

2 金額ノ欄ニハ法第四十二條ニ依リ支給シタル金額ヲ含マシムルコト

3 金額ノ欄ニハ當該年度ニ於テ支給義務ノ發生シタル退職手当金額ヲ記入シ未支給額アルトキハ其ノ未支給額ヲ別ニ赤字ヲ以テ附記スルコト

八 退職手当支給状況 其ノ二 (前年迄ノ退職労働者ニ對スル手当未支給額及本年中ニ於ケル其ノ支給額)

前年迄ノ未支給額	男	女	計
右ニ對スル本年度中ノ支給額			

差 引 殘 額

告 示

鳥取縣告示第三百九十三號

因伯牛犢生產檢查規則第一條ニ依ル生産檢查ヲ左ノ通施行ス依テ昭和十二年四月三十日迄ニ生産シタル犢ノ所有者又ハ管理者ハ該犢ヲ所定ノ檢查所ニ牽付ケ檢查ヲ受クベシ

昭和十二年七月六日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

検査月日	検査区域	検査場	検査所	牽付時刻
七月十五日	岩美郡蒲生村	岩美郡蒲生村大字蒲生		午前九時
	同 郡岩井町東村	同 郡岩井町大字岩井		午後一時
	同 郡小田村	同 郡小田村大字院内		午前九時
七月十六日	同 郡蒲富町本庄村	同 郡蒲富家畜市場		午後一時

00333

00332

七月十七日	同 郡福部村	同 郡福部村大字粟谷		午前八時
	同 郡大岩村	同 郡大岩村大字大谷		午後一時
七月十九日	同 郡成器村	同 郡成器村大字中河原		午前八時
	同 郡大茅村	同 郡大茅村大字榑本		午後一時
	同 郡宇倍野村	同 郡宇倍野村大字谷		午前八時
	同 郡宇倍野村	同 郡同 村大字宮ノ下		午後一時
七月二十一日	同 郡津ノ井村	同 郡津ノ井村大字桂木		午前八時
	同 郡米里村	同 郡米里村大字中大路		午後一時
七月二十二日	同 郡面影村	同 郡面影村大字雲山		午前八時
	同 郡倉田村	同 郡倉田村大字待居		午後一時
七月二十三日	鳥取市	鳥取家畜市場		午前八時

鳥取縣告示第三百九十四號

米穀現在高調査員左ノ通囑託並解囑アリタリ

00334

昭和十二年七月六日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

囑託調査員氏名 解囑シタルモノノ氏名 擔當調査區域 職務ヲ執ルベキ場所

小谷 甚三 竹本美龜藏 氣高郡末恒村 末恒村役場

◆鳥取縣告示第三百九十五號

當管内ニ於ケル保險齒科醫中左ノ通異動アリタリ

昭和十二年七月六日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

齒科診療所所在地 氏 名 異動事項 異動年月日

八頭郡智頭町大字智頭二六七九 伊藤 光藏 管外轉出 昭和十二年六月十五日

◆鳥取縣告示第三百九十六號

左記墓地ハ改葬ヲ要スベキニ付有縁者ハ昭和十二年七月十日迄ニ管理者宛申出ラレ度若シ期日迄ニ申出無キトキハ管理者ニ於テ適宜處理スベキ旨照會アリタリ

00335

昭和十二年七月六日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

場 所 福岡縣三井郡御井町字大南一〇六番地共同墓地

管理者 福岡縣三井郡御井町長 竹田津甚太郎

◆鳥取縣告示第三百九十七號

氣高郡大正村消防組ノ組織ヲ變更シ各部ノ人員數左ノ通定ム

昭和十二年七月六日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

一人員數

組	頭	部	名	部	長	小	頭	消	防	手
一	第一	部	一	部	一	一	一	三	九	三
	第二	部	一	部	一	一	一	五	四	二
	第三	部	一	部	一	一	一	二	八	三
	第四	部	一	部	一	一	一	三	六	三

00336

◆鳥取縣告示第三百九十八號
 八頭郡隼村消防組ノ組織ヲ變更シ第四部ヲ増設シ其ノ人員數其ノ他左ノ通定ム
 昭和十二年七月六日
 鳥取縣知事 立 田 清 辰
 一 人員 數

部 名	部	長	小	頭	消 防 手
第 四 部	部	一		一	二三

二 機械器具ノ種類員數

部 名	種 別	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十		
第 四 部	ガソリン	三	四	二	一	二	一	三	一	一	二	五	一
	唧												
	筒												
	水管												
	吸管												
	管鎗												
	注油器												
	螺旋												
	廻シ												
	引綱												
	鳶口												
	旗												
	高張												
	馬燈												
	上馬燈												
	下馬燈												
	網												
	警鐘												

三 建物ノ種類、棟數及位置

部 名	種 類	棟 數	位 置
第 四 部	機械器具置場	一	大字見槻四五六番地ノ一

00337

警 鐘 櫓 一 同 上

四 被服其ノ他給與品ノ種類員數

部 名	種 別	員 數
第 四 部	帽	二五
	衣	二五
	袴	二五
	足 袋	二五

五 給與スベキ諸手當ノ種類及金額

職務手當 其ノ年豫算額

◆鳥取縣告示第三百九十九號

八頭郡大伊村消防組ノ組織ヲ變更シ各部ノ人員數左ノ通定ム

昭和十二年七月六日

鳥取縣知事 立 田 清 辰
 一 人員 數

組 頭	部 名	部	長	小	頭	消 防 手
第 一 部			一		一	五九

鳥取縣告示第四百號

八頭郡丹比村消防組ノ組織ヲ變更シ各部ノ人員數其ノ他左ノ通定ム

昭和十二年七月六日

一 人員數

鳥取縣知事 立田 清辰

組頭		一						
部名	部長	小頭	第一部	第二部	第三部	第四部	第五部	第六部
第一部	一	一	一	一	一	一	一	一
第二部	一	一	一	一	一	一	一	一
消防手	六九	四九	三九	四一	四九	三八	二八	三二

二 機械器具ノ種類員數

部名	品目	一				
		第一部	第二部	第三部	第四部	第五部
腕用	ガソリン	一	一	一	一	一
腕用	腕用	一	一	一	一	一
脚筒	水管	一	一	一	一	一
車	纏	一	一	一	一	一
	梯子	一	一	一	一	一
	鳶口	八	七	四	六	六
	水桶	二〇	二〇	一五	二〇	二二
	刺又引繩	一	一	一	一	一
	旗	二	二	二	二	二
	高張提燈	二	一	一	一	一
	小丸提燈	一五	八	〇	八	一三
	吸管	七	三	三	三	三
	水管管鎗	八	三	三	四	四
	水管管鎗	三	一	一	一	一
	水溜桶	一	一	一	一	一
	荷車	一	一	一	一	一

三 被服其ノ他給與品ノ種類員數

部名	品目	員數
帽	頭巾	一
法被	股引	一
足袋	足袋	一
服	服	一

四 建物ノ種類棟數及位置				
部 名	種 類	棟 數	位 置	
第一 部	機械器具置場	二	大字北山	
第二 部	同 上	一	大字徳丸	
第三 部	同 上	一	大字中	
第四 部	同 上	一	大字用品	
第五 部	同 上	一	大字日田	
五 給與スベキ諸手當ノ種類及金額				

職務手當				
種目	職別	組 頭	部 長	小 頭
年手當		二〇〇〇圓	一〇〇〇圓	八〇〇圓
				五〇〇圓
				消 防 手

◆鳥取縣告示第四百一號
 生計費指數資料實地調査令第九條ノ規定ニ依ル生計費指數資料調査員左記ノ通六月二十五日附ヲ以テ内閣ニ於テ任命セラレタリ

昭和十二年七月六日

鳥取縣知事 立 田 清 辰
 岩 本 親 治
 木 村 秀 男
 西 山 春 次

◆鳥取縣告示第四百二號
 昭和十二年海軍省令第十號ニ依リ昭和十二年後期甲種飛行豫科練習生ヲ左記要項ニ依リ徵募セラル

昭和十二年七月六日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

豫定採用員數

昭和十二年後期甲種飛行豫科練習生

二〇〇名

志願者心得

第一 志願者ノ資格

(一) 年 齡

計算期 日

年 齡

出 生 期 日

昭和十二年十二月一日現在

滿十六歲以上
滿二十歲未滿

自大正六年十二月三日
至同 十年十二月二日 } 出生者

(二) 學 歷

制 限 ナ シ

(三) 學 力

中學校第四學年第一學期修了程度以上ノ學力ヲ有スル者

第二 志願書提出期日

志願者ハ左ノ書類ヲ昭和十二年七月二十日迄ニ居住地市町村長ニ提出シ市町村長ハ之ヲ同年七月二十三日迄ニ到着スル様知事ニ進達スルモノトス

(一) 昭和十二年後期甲種飛行豫科練習生志願書 (様式第一)

(二) 寫真一葉 (様式第二)

志願書提出用六ヶ月以内ニ撮影セル寫真(半身、脱帽、手札型)ノ厚台紙付(覆裝ナキモノ)表面右餘白ニ本籍氏名(氏名ニハ振假名ヲ附ス)ヲ自書シタルモノ
(三) 學業成績證明書

第三 徵 募 檢 査

最終修學ノ學校長ヨリ全學年ヲ通ズル學業成績證明書ニシテ成績順位ヲ記載シタルモノ
徵募檢査ヲ分テテ身體檢査、學力試驗、口頭試問トシ學力及口頭試驗ハ身體檢査合格者ニ就キ之ヲ行フ
(一) 身 體 檢 査

志願者檢査場ニ參集年月日及時刻

檢 査 場 所

檢 査 區 域

昭和十二年七月二十八日
午前七時四十五分
昭和十二年七月二十九日
午前七時四十五分

米子市
米子市公會堂
鳥取市
縣會議事堂

米子市、西伯郡、日野郡
鳥取市、岩美郡、八頭郡、氣高郡、東伯郡

(二) 學方試驗

試驗場所	志願者試驗場ニ參集年月日及時刻	試驗科目
鳥取市 鳥取第一中學校	昭和十二年八月十日 午前七時四十五分	代數、國語、漢文、作文
	同 年八月十一日 午前七時四十五分	幾何、化學、日本歴史
	同 年八月十二日 午前七時四十五分	物理、英語、地理
	同 年八月十三日 午前七時四十五分	口頭試問

第四 第二次検査及入隊

徵募検査ニ於テ合格シタル者ヲ昭和十二年九月一日午前八時頃須賀海軍航空隊ニ集メ第二次検査ヲ實施ノ上採用者ヲ決定直チニ入隊スルモノトス

第五 受驗心得

- (一) 志願者ハ検査場參集時刻十五分前検査場ニ到着シ検査官ノ指揮ニ從フモノトス
- (二) 志願者ハ身體検査前日必ズ入浴シ耳、口又ハ特ニ不潔ニ陥リ易キ部分ハ充分清潔ニ注意シ且安眠スルモノトス
- (三) 志願者ハ尋常小學校六年以上ノ通信簿、青年學校手帖、中等學校學籍簿若クハ之ニ準ズルモノ又ハ學業ニ關スル證書類ヲ携帯スルモノトス
- (四) 鉛筆、ナイフ、消ゴム、辨當、風呂敷ヲ携帯スルモノトス

(様式第一)

昭和十二年後期甲種飛行豫科練習生志願書

- 一本 籍地 何縣何市何町何番地
- 一現 住地 (本籍地記載例ニヨリ記入スベシ
但シ本籍地ト現住地ト同一ナルトキハ「本籍地ニ同ジ」トスベシ)
- 一族稱並職業 (士)族 何業
- 一 戶主トノ續柄 戶主何某 何男(弟)
- 一 志願者氏名 何某(右側ニ讀假名ヲ附スベシ)

- 一 出生年月日 大正何年何月何日生
 - 一 兵役關係 昭和何年適齡(例へば昭和十三年適齡ノ如シ)
 - 一 修學程度 何學校卒(何學年修又ハ在)
 - 一 青年學校 何科卒(何學年在又ハ中退又ハ不入)
 - 一 身長體重胸圍 身長何厘、體重何斤、胸圍何厘
 - 一 海軍志願兵令第二十七條各項ニ該當セズ
- 右甲種飛行豫科練習生タルベキ航空兵志願ニ付寫真一葉相添へ此段相願候也

昭和十二年 月 日

志願者 何 某 印

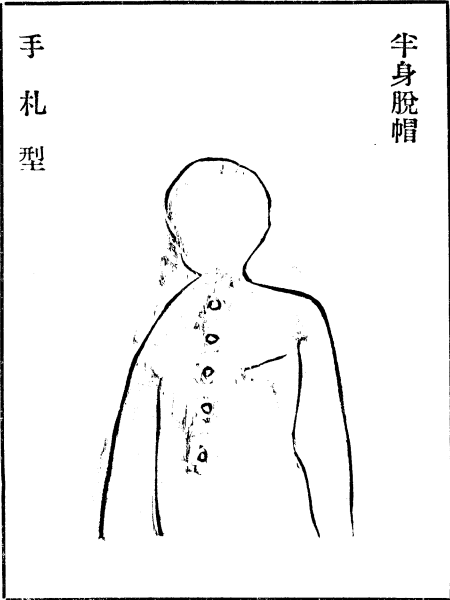
親權者 何 某 印

鳥取縣知事 何 某 殿

(様式第二)

厚台紙 (覆裝ナキモノ)
大サ指示ノ通)

半身脱帽



手札型

本籍

(讀假名ヲ附スベシ)
氏 名 (自書ノコト)

三寸二分位

五寸二分位

彙報

東伯郡西郷村長涌島延藏ニ對シ左ノ通譴責處分ヲ爲シタリ

昭和十二年六月二十八日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

東伯郡西郷村長

涌

島

延

藏

其職管理ニ係ル河北實業專修學校講堂建築ノ認可ヲ受ケズ且財源未ダ確定セザルニ之ガ工事ヲ完了シ災害復舊事業費財源トシテ起債シタル借入金ノ一部ヲ同建築費竝上大口用水路普通水利組合經費ニ流用費消シタルハ不當違法ノ取扱ニシテ右ハ服務義務ニ違背シ職務上甚ダ不都合ナリ依テ町村制第五百十條第一項ノ規定ニリ依譴責ス

七月七日發行官報附録「週報」掲載内容左ノ通

週報第三十八號掲載内容

一 アルコールの專賣に就て

(專賣局)

一 列強陸軍軍備充實の展望

(陸軍省新聞班)

——(國際時事解説)——

一 新統治法の實施を繞る印度の政情

(外務省情報部)

昭和十二年七月六日印刷
昭和十二年七月六日發行

發行者 鳥取縣鳥取市津町縣
鳥取縣氣高郡大正村大字古海
印刷所 鳥取刑務支所